

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年4月25日】第121号



小菅村での学習に向けて

農大稲花小の4年生は、今年山梨県小菅村での宿泊学習を行う予定です。とはいえ、小菅村ってどんなところ？ 子どもたちも、教員も、まだイメージがわきません。4月18日(月)に東京農業大学地域創生科学科入江彰昭教授と東京農業大学非常勤講師矢野加奈子様(合同会社流域共創研究所だんどり)を稲花タイムにお招きし、小菅村のご紹介をお願いしました。まず、東京農業大学初代学長横井時敬博士の言葉「農業のことは農民に聞け」から、小菅村に行くのは農業の学び方を学ぶことであり、農業を知るには、農山村の人々の暮らし(生活)を見て聞いて学ぶことが大切であると教えていただきました。また、一人一人が「地域の研究者になってください」という説明は、これから子どもたちの心に染み入っていくことと期待しています。本校は関係者とともに何回かオンラインでの打ち合わせを続けてきましたが、4月21日(木)には担任、学務部主任、事務室長が、小菅村に赴き、現場での打ち合わせも行いました。これから6月下旬に小菅村に行くまで、子どもたちの調べ学習も行われます。

【東京農業大学と山梨県小菅村との地域連携】

https://www.nodai.ac.jp/about/activities/cooperation/activity/yamanashi_kosuge/

畑もにぎやかに

今週は、1年生はトマトを、2年生はナスを、3年生はエダマメを植え付けました。1年生が農大稲花小の畑に行くのは初めてです。学校の正門から出て、きちんと並んで歩いて、畑と小学校を往復しました。また、畑では「畑の先生湯浅さん」のご指導を受けて、ちょっと暑い日ですが熱心に作業をすることができました。一方、2年生、3年生は昨年までの畑の作業経験が活かしていることと思います。しかし、どの作物であれ植えたら収穫まで、放っておいてはいけません。これからは担任に連れられて、折々、畑の様子を見に行くこととなります。

ナタネのさやを配布

4月18日(月)、2年生、3年生、4年生の全員に、2つずつですがナタネのさやを配付しました。2年生が1年生だった秋に、東京農業大学造園科学科の金澤弓子先生のご指導で播種した寒咲系菜花が、年末からずっと子どもたちの目を楽しませてきました。今回は、主にこれらの花の後に取れたさやを、配布したのです。しばらくすると乾燥して、黒っぽい種が出てきます。押しつ

ぶして菜種油が取れることを確かめてもいいですし、発芽させてみるのもいいでしょう。

一方、プランターに残っている菜花は、そろそろ終わり。白っぽい粉のようなカビがつく病気「うどんこ病」も発生してきました。今週のある日の下校時に2年生から、「葉っぱが白っぽくなっているのはなぜですか」という質問があったのです。うどんこ病の発生は残念ですが、植物を注意深く見ている子どもがいることを、とてもうれしく思いました。

図書室前には、白いダイコンの花、黄色い菜の花、そして収穫したさやを展示しています。

授業参観

今週は、授業参観も行われました。新型コロナウイルス感染防止のため、また、子どもたちが授業に集中できる環境を維持するため、今回の授業参観もオンラインでのリアルタイム配信となりました。どの学級でも、担任による国語または算数の授業の参観、そして、1学級を18人ずつの2グループに分けての英語の授業の参観が行われました。また、授業だけでなく、中休みや給食・昼休みの様子も配信しました。自分たちで配膳してから黙食する子どもたちの様子は、いかがでしたでしょうか。各教室に3台のカメラをセットしての授業参観です。どの教室でも、子どもたちの自然な様子が見られました。お忙しい中、多くの保護者にご参加いただくことができ感謝しています。

おめでとうございます

農大稲花小の校歌「東京農業大学稲花小学校の歌」は、谷川俊太郎先生に作詞していただいたものです。本校の開校式には谷川俊太郎先生と、校歌の作曲をお願いした谷川賢作先生が来校され、谷川俊太郎先生には、「明日に」という詩を朗読していただきました。

4月20日(水)、谷川俊太郎先生が、8月に開催される詩の国際大会「ストルガ詩祭」の最高賞「金冠賞」を受賞されることになったことが報道により伝えられました。農大稲花小の皆でお祝いを申し上げます。

谷川俊太郎先生は詩人としてご高名なだけでなく、「鉄腕アトム」主題歌の作詞、スノーピーたちが登場する「ピーナッツ」、絵本などの翻訳もされています。農大稲花小の子どもたちも、改めて本校の校歌の歌詞のすばらしさを味わいたいですね。

東京農業大学稲花小学校の歌

作詞：谷川俊太郎

作曲：谷川賢作

わたしたちは いきている	知らないことを まなぶひび	きょうからあすへ
このほしの だいちのうえに	すこやかに こころからだ	どうかしょうがっこう
たいようと みずにめぐまれ	ともだちと わらってないで	
はるなつあきふゆ	はるなつあきふゆ	
めぐるいのち はなさくいのち	みのるいのち はぐくむいのち	

保護者会と校内見学

4月23日(土)、保護者の皆様を農大稲花小にお迎えしての保護者会を開催しました。全体会は2学年ずつとし、また各ご家庭からはお一人のみの参加とするなどの制限もありましたが、久しぶりに保護者の皆様と教職員が顔を合わせての保護者会となりました。全体会では校長より、学校の近況、行事運営の方針、子どもたちをよりよく伸ばすために保護者と共有したいことなどについて話をいたしました。また、3、4年生には進学についての考え方をご説明しました。

本校では「10の能力」を身に付けることを重視しています。学びに向かう姿勢が身に付いてこそ、確かな学力を身に付け、長期的に伸び続けることができる考えるからです。そのためにも、学校を大切にする姿勢、とくに友だちや先生とともに学び合う学校での学びを大切にする姿勢が必要であると、保護者の皆様にはお伝えしました。子どもたちが農大稲花小のカリキュラムに前向きに楽しく取り組めるよう、教職員もさらに努力をしてみたいと思います。

全体会、学級保護者会、教育後援会による活動報告などの後、学級ごとに校内見学を行いました。開校初年度を除き、新型コロナウイルスの蔓延により、保護者の皆様に学校内をご覧いただく機会がほとんどありませんでした。そこで、この保護者会の機会を利用し、校内見学を計画いたしました。プール、理科室、PC室、図工室、図書室、音楽室、家庭科室、交流室など、子どもたちが普段から利用する場所を、お目にかけることができました。これからもぜひ、子どもたちから、毎日の学校の様子を聞いていただきますようお願いいたします。

教育後援会主催の「ふくのリレー」も実施しました。